

たかさご未来資産を貯めようプロジェクト提案型実証事業に係る検証

1 概要

事業者	システム
株式会社スタジオスポビー	SPOBY
事業目的・概要	
<p>スマートフォンアプリ「SPOBY」を活用し、移動による脱炭素に高砂市民を中心とした参加者で挑戦する「テクリンエコウォークチャレンジ」を実施。 参加者は脱炭素行動に応じてポイントを獲得でき、獲得したポイントは協賛事業者の商品と交換できるようにすることで、脱炭素行動を促す。</p>	

2 KPI・評価指標

KPI・評価指標	単位	目標値	実績値	達成度(%)
1 参加人数	名	700	667	95%
2 継続率	%	70	78	111%
3 脱炭素量	kg	2,450	3,192	130%
4 平均歩数増加量	歩	600	135	23%
5 協賛事業者参画数	社	5	12	240%

3 その他参考

<p>脱炭素に係る行動変容について、アンケートで「少しの距離であれば乗り物ではなく徒歩や自転車で歩く機会が増えたか」「環境保全の意識は高まったか」という質問に対し、「Yes」の回答が8割以上だった。</p>

4 実証事業の検証結果

事業の検証	検証結果	①実装、検討するもの
	②	②参考にするもの ③実装しないもの
事業の検証	コメント	
	<p>実証事業における目的、目標ともに明瞭に示されていた。 定量的指標(KPI)として一部数値を達成する等、一定の利用者が集まり、データを収集することができていた。アンケート結果から、脱炭素等に対する意識の変容という点においても、一定の効果があった。評価においては、定量的指標である平均歩行増加量は増えなかったこと、また、特典終了後に活動量が減少したことから、行動変容には至っていない。継続した取組を行うための仕掛けづくりが課題である。働き世代以外の参加者を巻き込む取組、さらに脱炭素とともに、健康等の枠組みでも考える必要がある。今後の展開に向け、参考とする。</p>	
	目的	実証の取組において「目的」が明瞭に示されているか。
	目標	「目的」に対して論理的な「目標」が設定できているか。
	結果	「目標」に対する指標が、定量的または定性的に「結果」として示されているか。また、「結果」の考察が十分にされているか。
検証の視点	評価	「目的」に対する実証が実施できたか。 今後の展開に向けた考察や課題に触れているか。